

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：公害対策費

事業名 放射線監視事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境管理課 環境安全係 電話番号：058-272-1111(内2985)

E-mail : c11264@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,280 千円 (前年度予算額： 10,939 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	10,939	281	0	0	0	0	0	0
要求額	2,280	281	0	0	0	0	0	1,999
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成23年の東京電力福島第一原子力発電所での事故を受け、県独自で3カ所（揖斐総庁、東濃西部総庁、飛騨総庁）にモニタリングポストを設置した。更に、放射性物質の拡散予測により、福井県の原子力発電所等の事故の際に県内への流入ルートとして想定された関ヶ原町役場にモニタリングポストを追加整備し、計4カ所のモニタリングポストにより空間放射線量の測定を行っている。

また、緊急時にはサーベイメータを使って、空間放射線量の把握を行うこととしている。

(2) 事業内容

- 4カ所のモニタリングポストにより、空間放射線量の継続的な測定を行う。
- 環境放射線モニタリングシステムにより、空間放射線量の継続監視を実施する。
- サーベイメータの校正点検を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

放射線監視等交付金事業分については、国10/10で実施する。
その他地域での空間放射線量の把握が必要であると県が判断し、設置・配備した機器の維持管理については、県10/10で実施する。

(4) 類似事業の有無

有

【放射能水準調査費】（国委託事業）

岐阜市、大垣市、美濃市、恵那市、各務原市、郡上市、下呂市に設置した7台の固定型モニタリングポストにより、空間放射線量率の測定を実施している。

【放射線監視ネットワークシステム運営費】（放射線監視等交付金事業）

揖斐川町坂内地内に設置した測定期局において、空間放射線量率の測定を実施している。

【放射線モニタリング情報共有システム運営費】（放射線監視等交付金事業）

平常時において、当該システムによる関連システムからの情報収集及び関係府県及び国との情報共有が行われることを点検、確認する。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	0	旅費
需用費	82	消耗品、電気料金
役務費	78	モニタリングシステム通信費
委託料	2,120	モニタリングシステム保守点検業務委託、関ヶ原町モニタリングポスト運転管理業務委託、サーベイメータ点検校正業務委託
合計	2,280	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

環境放射線モニタリングシステムの構築事業者に、システムの保守点検業務を委託。サーベイメータの製造業者等に、機器の校正点検業務を委託。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
県内の空間放射線量の状況を把握とともに、県民に周知する。
緊急時モニタリングに必要なサーベイメータを、使用可能な状況に維持する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

空間放射線量の監視事業であり、その性質上、数値目標の設定が困難である。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	<ul style="list-style-type: none">・取組内容 環境放射線モニタリングシステムの運用、サーベイメータの点検校正。・成果 県内の空間線量の把握及び周知並びに緊急時モニタリング体制の維持ができた。また、緊急時に備えて機器整備をすることができた。
令和 5 年 度	<ul style="list-style-type: none">・取組内容 環境放射線モニタリングシステムの運用、サーベイメータの点検校正。・成果 県内の空間線量の把握及び周知並びに緊急時モニタリング体制の維持ができた。また、緊急時に備えて機器整備をすることができた。
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none">・取組内容 環境放射線モニタリングシステムの運用、サーベイメータの点検校正。・成果 県内の空間線量の把握及び周知並びに緊急時モニタリング体制の維持ができた。また、緊急時に備えて機器整備をすることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	県内の空間放射線量の状況を県民に周知する事業であり、必要性は高い
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	空間放射線量の測定、リアルタイムでの公表を継続して実施できている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	システムによる自動化、効率化を図っている。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

各種機器及び装置の耐用年数に合わせ、計画的に更新を行わなければならない。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
空間放射線量の継続的かつ安定的な監視が継続できるよう、システムを運用していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	